



魅力あふれる“もの大”人材ブック

TECHNOLOGIST

「ものづくり大学」の卒業生たちは、今、どのように成長し、
どのように社会と関わり、自らの未来と幸せを追い求めているのか

進化する技・深化する知





IOT Vision Compass 2030

ものづくり大学は、現場における課題解決に
果敢に挑戦し、現場の付加価値を最大化できる
人材を育てています。

「ものづくり大学 ビジョンコンパス2030」は、2030年に向けて大学のあるべき姿を明確にし、その実現のための方針を明文化しています。その背景には、2030年には人口減少が進み、生産年齢人口(15歳から64歳の労働人口)が著しく減って、わが国の産業基盤は崩壊するかもしれないという危惧があります。今こそ、わが国の「ものづくり」を次世代に継承するための教育が極めて重要だと私たちは考えています。また、現代に生きる私たちにとって、「働くこと」は単に労働ではなく、社会のさまざまな課題を解決するための「技と知」であるべきだと思います。社会性・倫理性・現場力を身に付けたテクノロジストを養成し、日本の未来に輩出し続ける使命をものづくり大学は担っています。

「進化する技・深化する知」というスローガンのもと、本学のテクノロジストたちは、どのように成長し、どのように社会と関わり、自らの幸福とより良い社会の実現を追求しているのか。その答えを、この冊子から少しでも読み取っていただければ幸いです。


◎ 社会で活躍するテクノロジスト

本冊子では、社会の多様な分野で活躍しながら、さらに日々進化し、深化し続けるための努力を続けている卒業生を取り上げました。さまざまな困難や弊害を乗り越えながら、明日に向かって真価を発揮しようとする卒業生たちの活躍が、ものづくり社会に新しい潮流を生み出します。

ものづくり大学技能工芸学部のディプロマポリシー(学位授与の方針)

本学は建学の基本理念に則り、ものづくりに対する社会的評価の向上と世界に貢献することを使命とし、高度なものづくりに対応できる基礎学力と専門的知識および高度な技能技術を持ち合わせたテクノロジストを育成し社会に輩出することを目的にしている。特に、本学を卒業するテクノロジストには、ものづくりへの誇りと真摯さを身につけ、自らに一流の仕事を要求し、常に基準を高く定め、ものづくりにアプローチすることが期待されている。そのためにテクノロジストとして必要な基礎学力、専門的知識、技術技能に合わせ、以下の能力を身につけ、卒業要件を満たした者に学位(技能工芸学)を授与する。

1. ものづくりを実践することから得られる創意工夫する力(現場力)
2. 課題を見出しチームで協力したり、リーダーとなって解決する力(課題設定・解決力、マネジメント力)
3. 困難に向き合い乗り越える力(耐力、胆力)
4. 異文化など多様性を受容、尊重でき、科学技術、社会経済のグローバル化に対応できる力(協調力)
5. 価値観の異なる相手とも双方向で真摯に学び合える力(コミュニケーション力)



さまざまなものを受け入れて、
自分のものにし、それを社会に還元する、
その柔軟性が私の強みです。

01

昇 愛華さん

建設技能工芸学科2005年3月卒業
勤務先 | 杉田エース株式会社

杉田エースという企業で「商品開発」を担当しています。この5年くらいの中に、災害時の避難に必要な充電器などの防災グッズ、非常食なども手掛け、さらにアウトドア用のファニチャーなども製造しています。家具はデザイナーさんとコラボするんですが、私たちは家具のコンセプトを伝え、それをカタチにさせていただく。デザイナーさんはやはりこだわりを強くお持ちです。しかし、デザインが優れていても強度が足りなければ、商品として成り立ちません。そのために、デザイナーさんに納得していただいたうえで、強度を高める工夫をしていただく。粘り強く話し合います。いいものをつくりたい、多くの人に喜んでもらえるモノをお届けしたいという気持ちはみなさんと同じ。私にとって大切な

のは、デザイナーさんでも製造現場の方でも、「つくっていただく人」へのリスペクトだと思っています。さらに、私にはこの商品を社会に送り出す責任があります。商品は、売れなきゃ意味がない。作品ではないのですから。そのために、予算やスケジュールの管理はしっかりやります。商品として世の中にお届けするために。大学時代、社会人となってから、いろいろな体験を経て、私は、何にでも挑戦する気概を持た。大学も会社もそういう環境を用意してくれた。だから今、何か一つ特化した部分で強みを持つというよりは、多様なものを吸収し、それらをすべて受け止めて、カタチにしていく柔軟性、つまり一つのところにとどまらない、自分の技術分野だけに固執しない。それが自分の強みになっていると思います。

日本の製造現場をさらに価値ある場に、
後輩たちと共に邁進していきたい。



沼尾 紘臣さん

製造技能工芸学科 2010年3月卒業
勤務先 | 日本電産コパル電子株式会社

ものづくり大学同窓会理事 / 元学校法人ものづくり大学評議員



卒業して約12年。現在は生産設備の選定や、工程導入に関わっています。入社後すぐに生産技術の担当として設備設計に携わりました。当時はほとんど設計の経験がなく不安に感じましたが、過去の設備図面を参照したり、展示会などに積極的に参加して少しでも技術が修得できるように努めました。大学時代に分野を問わず幅広く学べた経験は、生産設備に関わるうえでとても役立っていると感じています。

12年間の経験の中で、自動設備の導入に携わったことは、強烈な思い出です。それだけ困難も多く、苦勞もしましたが、最終的には達成感を味わうことができ、今でも誇りに思うことができる仕事のひとつとなりました。

将来は、さらに経験を積み重ね、自分を磨き、さまざまな技術に精通して、設備導入計画からメンテナンス、装置の改造までを含めた工場全体の生産設備管理を担いたいと考えています。大学の強みは、生産現場で活躍できる人材育成だと思います。わが国の製造業はまだ自動化が遅れています。人材不足も深刻です。その意味でも、これから社会に出る後輩たちと共に、日本の製造現場をさらに価値あるものになりたいと思います。

坂田 祐作さん

製造技能工芸学科 2014年3月卒業
勤務先 | オグラ宝石精機工業株式会社



今は捲線ノズルの製作に携わっています。これには大学時代に学んだ加工機械の細かな操作が役立っています。大学時代の同窓生とは、定期的に飲み会などを開催。今は時代に合わせてオンライン飲み会ですが、お互いに役立つ情報交換ができるので、これからも続けたいですね。大学時代、ユニークな教師との出会い、面白い考え方の友人がたくさんできたことは、自分の宝物になりました。後輩たちにはできる勉強は全部やっておけ、と言いたいです。社会に出てからの大切な基礎になりますから。



ユニークな教師、

面白い仲間たちとの出会いは、

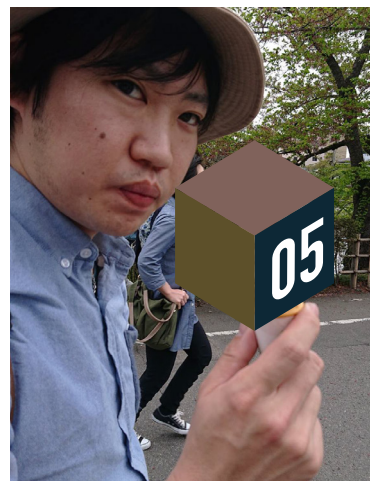
一生の宝物です。



植村 将さん

製造学科 2015年3月卒業
勤務先 | Aero Edge株式会社

同期の仲間とNHKロボコンに参加したのは、今も忘れられません。その時に得たもの、仲間たちは今も仕事に生きています。後輩には、つねに学び続けること、新しいことに挑戦する姿勢を忘れないでほしい。



片桐 郁昭さん

ものづくり学研究科 2015年3月修了
勤務先 | 株式会社木村鑄造所

ものづくり大学同窓会理事 /
元学校法人ものづくり大学評議員

さまざまな分野の技術を幅広く学んだことが、今日の仕事に活かされています。実験や体験の授業が非常に多く、それは社会で生きる学びです。後輩たちには、基礎をちゃんと学び現場での応用に活かせと伝えたいです。



1+1が2だけでなく、5にも10にもなる、
さらにまったく新しいものを生み出せる、
その未来をめざして。

06

竹中 信輝さん

ものづくり大学同窓会理事 / 学校法人ものづくり大学評議員

製造技能工芸学科 2012年3月卒業
勤務先 | 三洋テグス株式会社 営業グループ・技術担当

私は草刈り機用のナイロンコードの製造販売を行う会社で、製造・開発や営業を経験してきました。いきなり営業へ行けと言われた時には正直戸惑いました。しかし、自分なりに製造開発の現場で試行錯誤した経験を活かし、実際に草刈り機で、お客様の目の前で草刈りをして見せて、自社製品の優れた点をアピールするという方法をとりました。その場で得られたお客様の反応を、開発にフィードバックするというのもあり、使う側の目線でものづくりを考えることの大切さも学ぶことができています。大学時代で強く印象に残っているのが実働40日間、約2カ月間にわたる長期のインターンシップです。ここで大学で学んだ知識や想像していた「働く」ということの、リアルな

感覚をつかむことができたことは、社会に出てからの貴重な財産となりました。教授から「守破離」というコトバを教えてもらいました。「守」は、技を忠実に守り、しっかり身に付ける段階。「破」は、そこから他の考え方や教えについても知り、良いものを取り入れ、技を発展させる段階。そして「離」は、これまでの知と技を総合して、独自の新しいものを生み出し確立させる段階というのです。「ものづくり」というと、目の前の作業、言われた作業だけをやっているようだと思うかもしれません。しかし、その技に知恵をプラスし、1+1が2だけでなく、5にも10にもなるように成長し続け、そして未来には、まったく新しいものを生み出すこと。それがものづくり大学の教えだと私は思っています。



これからもスキルを磨き、
会社に貢献したいと思っています。

久保田 泰弘さん

製造技能工芸学科2014年3月卒業
勤務先 | 株式会社アマダ

株式会社アマダは、金属加工機械を製造販売するメーカーで、私はレーザを中心にして地域の窓口を担当、修理や機械立ち上げなどに関する作業を主に担当しています。大学で学んだ機械の扱い方の基本、工具や材料に関する知識、またインターンシップなどを通じて得た知識と技術は、今の現場で非常に役立っています。私自身、まだまだ未熟ですが、これからもスキルを磨き、会社に貢献したいと思っています。後輩の皆さんには、ものづくり大学で学びながら、現場の経験値を高め、企業での即戦力をめざしてほしいと思います。



土屋 悠さん

製造技能工芸学科2012年3月卒業
勤務先 | 中学校美術教師

大学で、さまざまな道具や機械を使用したり、鉄やアルミなど多様な素材に触れた経験は、今美術教師として教壇に立つ私の原点です。生徒たちにも、日々どのような道具、どのような素材を使うのか、そこを考えることによって新しい価値を創造する力が育まれるのではないかと期待しています。「ものづくり」から「ひとづくり」へ、私は進化してきました。後輩の皆さんにも興味を持ったものに対してとことん情熱を持って学び続け、想像力と行動力を培ってほしいと思います。

「ものづくり」から「ひとづくり」へ
進化し続けてきました。



コロナ禍で必要とされた医療機器、
医薬品用の生産設備にも対応しました。

中山 惣一郎さん

製造学科2016年3月卒業
勤務先 | SMC株式会社

まさか、空気圧制御機器メーカーに入社して刃具の仕事をするようになるとは思いませんでした。しかし、経験を積むにつれて、専用刃具がいかに製品生産のサイクルタイムを短縮し、コスト削減につながるかが見えてくると、いいものをつくる意欲がわいてくるようになりました。大学時代に、製造に関する多様な知識を身に付けたことが、どのような仕事でも柔軟に対応できる基礎になっています。また、コロナ禍では医療機器や医薬品向けの製品に関わり、仕事を通じて社会に貢献できたと思います。



鈴木 隆介さん

製造学科2020年3月卒業
勤務先 | 日立グローバルライフソリューションズ株式会社

授業だけではなく、プロジェクトなどを通じて多くの技術を修得できました。だからこそ4年間を通じて、自分の人生は大きな転機を迎えることができました。今は家電の新機能開発などに取り組み、とても充実感を感じています。



金澤 萌さん

建設技能工芸学科2005年3月卒業
勤務先 | 合同会社とらぼ 代表社員

大学時代から左官業を志して、男社会で苦労したこともあります。それでも今は地域を巻き込みながら、経験を活かして「場づくり」に力を入れています。これからは左官にこだわらず、仕事を生み出していきたくと思っています。

仕事に集まる多くの人々が、

「いいもの」をつくりたいと思っている、

それを信じること、あきらめないこと。

そこに達成感がある。

12 宮澤 直希さん

建設技能工学学科2005年3月卒業
勤務先 | 株式会社水澤工務店

私は一期生です。新しい大学を自分たちの手で作り上げるというような気概もあり、学びも自分たちが主導するんだという熱意に燃えていました。仲間たちと互いに引っ張り合って、さらに上をめざそうというような。あきらめないで続ければきっと花開くと、当時は純粋に信じていたと思います。誰でもいつでも利用できる「ものづくり工房」というのがあって、いつもそこに入り浸って仲間たちとああでもないこうでもないものづくりをしたものです。そんな環境も懐かしいですし、それが今の仕事に活きているとしばしば実感します。もともと建築が好きだったんですが、ものづくり大学に入って、これを一生の仕事にしようという決意が固まったのが、大学で手にした一番の成果かもしれません。この業界

で働くようになって15年以上たちますが、厳しいことも辛いことも少なくありません。若輩ですが、多くのプロの職人さんを引っ張り、まとめて、図面通りのものをつくりあげる、当然お金と時間と安全の管理は必須です。しかし、ひとつの仕事に集まるたくさんの人がみんな、「いいもの」をつくりたいと思っている、それを信じること、そしてあきらめないこと。これがどんな苦労も困難も、出来上がった時の「達成感」に変えてくれます。入学当初からもものづくり大学の基本理念として掲げられていた「テクノロジスト」には愛着が今もあります。「技」と「知」を両輪のように兼ね備え、その技能と知識を限りなく深めていく人として、在学時代から今に至るまで、努力を続けてきたと自負しています。



鈴木 健寛さん

建設技能工芸学科2005年3月卒業
勤務先 | 株式会社ベストグリーン 専務取締役



ゼロから造園会社を立ち上げ、がむしゃらに仕事をしてきましたが、一度も辛いと思ったことはありません。今は幸い従業員も増え、会社も知られるようになり、当社を大切に思ってくれる仲間たちも増えています。大学時代を振り返って思うことは、大学は何よりも人と人とのつながりを学ぶところ、だという点。その意味でも今の自分があるのは、ものづくり大学のおかげだと思っています。壁にぶち当たっても諦めず、失敗を恐れず挑戦し続ければ、その先にはきっと得るものがあるはずです。

大学では人と人とのつながり、
そして諦めず、挑戦し続けることを学んだ。



大学時代に仕上げ・施工の現場を
実践的に体験できたことが今の自分につながっている。

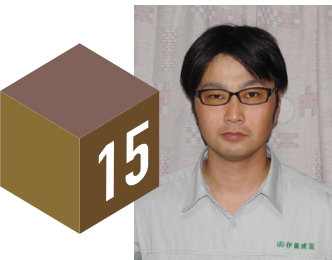
金濱 夏央さん

建設学科2018年3月卒業
勤務先 | 株式会社船場



現在の仕事は、商業施設の内装仕上げ工事に施工管理者として携わっています。当初は「人に依頼すること」が苦手な躊躇することもあり、仕事を抱え過ぎて苦勞したこともあります。今は多くの人に相談にのっていただき、自分の業務ペースがつかめて、工事の進行もスムーズに行うことができるようになりました。引渡しの際に施主様から感謝の言葉をかけていただいたときは本当に、この仕事をやって良かったと感じます。大学時代に、RC、木造、仕上げと施工の現場を実践的に体験できたことが現在の仕事に役立っています。とくに造園、とびの技能検定の受検、RC

構造などの授業は強く印象に残っています。今後は、大学で学んだこと、社会で積んだ経験をベースに、さらに自らの成長のために切磋琢磨し、その知識やスキルを後輩たちに教えることで、素晴らしい店舗デザインの創造に貢献していきたいです。これから社会に飛び出そうとしている在学生の皆さんには、さまざまな分野、価値観の人との交流を強く勧めたいと思います。独りよがりにならず、幅広い視野で仕事を見ることができるようになることは、仕事の現場で、また人生できっと大きな実りが期待できると信じています。



伊藤 嘉男さん

建設技能工芸学科2005年3月卒業
勤務先 | 有限会社伊藤建設 常務取締役

ものづくり大学同窓会副会長/
学校法人ものづくり大学評議員

道路・水路・上下水道などの公共土木の工事を行っています。インフラは老朽化が進んでおり、維持修繕する時代になってきています。有効な方法を選定するために知識と経験が求められるので、社会に出ても勉強は必要なのだと感じています。



山崎 大輔さん

建設技能工芸学科2008年3月卒業
勤務先 | 株式会社DAY'S
代表取締役

住宅・店舗の設計・施工管理から工事までをワンストップで請け負う工務店を立ち上げ、そのすべてに関わっています。お客様と同じ方向を見て、共に喜び、楽しみ、一緒に走り続けています。どんな形でもものづくり大学の後輩と一緒に働きたいと思っています。

一期生で、社会人入学。それなりの年だったので、どうしても学校行事などがあれば、「おまえやってくれ」という話になる。マネジメントというほどではありませんが、それでも人をまとめて、人を動かして、「連帯」して、ひとつになってものごとを遂行していく。だから、モノづくりというよりは、コトづくりですね、大学で学んだのは。弊社は精密板金業を40年以上やってきました。私が社長を継いで8年になります。今でも新規の顧客に対しては私が営業の先頭に立ちます。その時の信念は「仕事を断らない」こと。まずはやったことがない仕事にも積極的に取り組む。「難しいかも」と思った仕事でも、なんとか工夫したり、知恵を出し合ったりすれば、きっとできるようになる。弊社は財務がしっかり

していますから、社員が大失敗しても、ビクともしません。社員一人ひとりがつねに挑戦する気持ちを持つ方が、失敗なんかより何倍も大切だと思っています。テクノロジストというのは、知恵と技能を併せ持つ、というような意味でしょうか。ただ、これらを両方持っている人というのはなかなかいません。なので自分の出来ること、好きなことを一生懸命やったほうがいい結果が出ると私は思っています。さまざまな社員がいて、知恵を出す人、技能を使う人、そういう力を少しずつ持ち寄って、大きな力にしていく。つまりチーム力ですね。だから大学で大切なのは「仲間づくり」です。いろんな人と知り合って、いろんな力を持つ人と友達になって、チームで戦う方法を身に付けるのがいいんじゃないかと思えますよ。

倉川 尚志さん

前ものつくり大学同窓会会長／元学校法人ものつくり大学評議員

製造技能工芸学科2005年3月卒業
勤務先 | 株式会社倉川製作所 代表取締役社長



失敗しても、何度でもやり直せる。

大切なのは、挑戦し続ける気持ちだ。

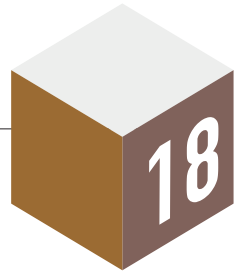


東京駅や新宿駅にそびえる、あの建物に
僕の汗がにじんでいる。

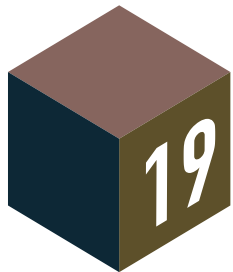


小田 新二さん

建設技能工芸学科2006年3月卒業
勤務先 | 大和ハウス工業株式会社



東京駅や新宿駅付近で、誰もが知っている建物の施工管理をまかされた時は、ちょっと震えが来ました。それをやり遂げる責任感や使命感に押しつぶされそうになりましたが、多くの人に支えられ、協力していただき、無事にやり遂げることができました。施工中は無我夢中ですが、今、振り返るといろいろな思いが錯綜します。ああすればよかった、こうすればよかった、そんな思いに苛まれます。多くの人々が関わっているだけに、その人たちの思いを1ミリも無駄にすることなく、竣工までを見届けたい、そんな思いで工事に携わっています。そんな私ですが、入社した頃、飲み会が苦手で、誘われても逃げ回っていたものです(笑)。今後、さらにスキルを磨き、自分でできる範囲を増やしていきたいと考えています。大学時代に学んだことは、今、そのすべてが血となり肉となって、私を支えてくれています。後輩の皆さんも、自分の考えを持ち、一人で行動できる人になってください。自分の力を高めることが、より多くの人に信頼され、より多くの人と連携することにつながります。まずは、誰にでも明るく挨拶することから、はじめましょう。これは、とても大切なことですよ。

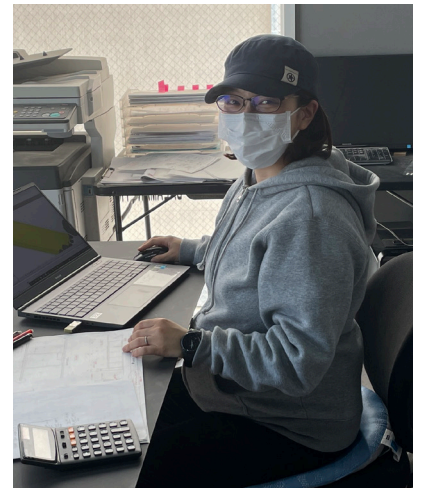


実際の職人さんから直に教わったものづくりは、
今も鮮烈な印象として残っている。

武永 友加里さん

建設学科2015年3月卒業
勤務先 | 株式会社ビッグベアー

東屋を製作する木造実習や、家具づくりの実習など、実習の授業がたくさんあって、とても楽しかったことを鮮烈に覚えています。また実際の職人さんから直に教えてもらったことは、かけがえのない経験になりました。今はそんな経験を活かして飲食店やオフィスの内装什器や家具の制作をしています。お客様の要望に基づいてスケッチをもとに図面を起こし、構造、つくり方を決めて他の社員に指示を出すなどの仕事も増えてきました。時には難しいことや厳しいことも少なくありませんが、やり遂げた時の達成感はとても爽快です。



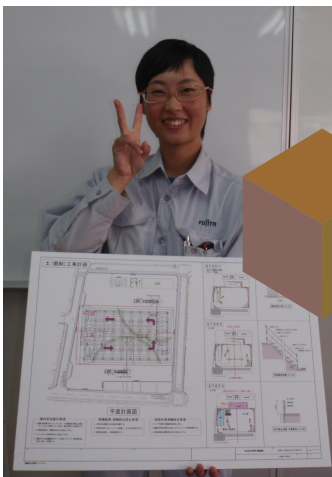
染谷 雪乃さん

建設技能工芸学科2009年3月卒業
勤務先 | 株式会社フジタ

ものづくり大学同窓会理事

20

子育てをしながら、ゼネコンで
工事担当として施工管理に携
わっています。自分の計画が目
の前で遂行される様子を見るのは感動的。ものづくり大学で体を動かしながら学び、多様な人に出会って、世界を広げてください。



宮 賢一さん

建設技能工芸学科2011年3月卒業
勤務先 | 向井建設株式会社
工事係長



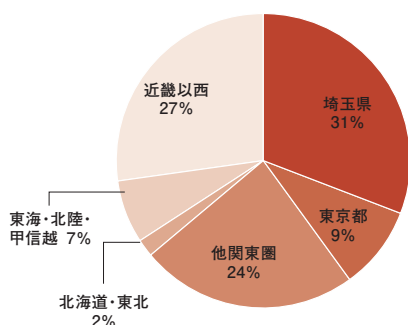
大学時代の学びで、今も生きてい
ると思うのは、実際にモノに触れな
がら学んだこと。教科書や説明書
だけでは頭で理解しているだけだ
ですが、実際に触った感覚は、忘れ
ることがありません。見積作成や
工事計画に役立っています。

卒業生の 就職状況

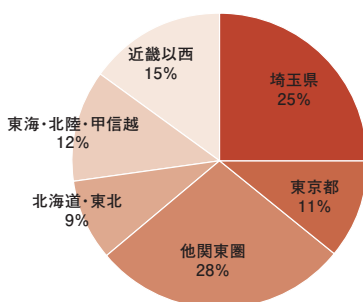
ものづくり大学卒業生の進路は大企業からユニークな中堅企業、独自性の高い企業、ものづくり現場への就職や大学院への進学など多岐にわたっています。また、学生の出身地は全国に広がり、特に関東圏出身の学生は全体の6割以上となっており、大学所在地の埼玉県出身の学生は全体の約2~3割となっています。

卒業予定者の出身地 2022年3月卒業予定者データ

◎総合機械学科

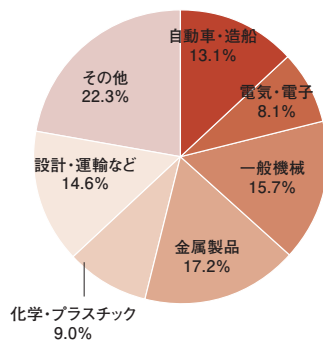


◎建設学科

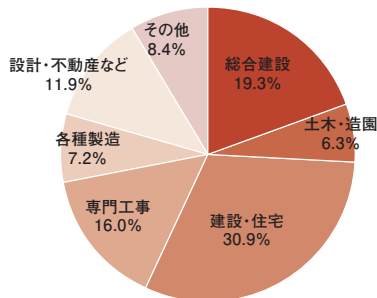


卒業生の業種別就職状況 2021年3月卒業生データ

◎総合機械学科



◎建設学科



◎大学院等の主な進学先

九州大学大学院、東京工業大学大学院、北陸先端科学技術大学院大学、上越教育大学大学院、電気通信大学大学院、ものづくり大学大学院、工学院大学教職特別課程 他

◎大学院等の主な進学先

千葉大学大学院、日本大学大学院、日本工業大学大学院、前橋工科大学大学院、ものづくり大学大学院、ウイスコンシン大学、工学院大学教職特別課程

2021年5月1日現在

数字で見る、 ものづくり大学の 就職の強さ

開学以来平均 **96%** の就職率
「実践力」に裏付けされる就職の強さ

学内企業説明会には
約350社の企業が参加

年間 **25回** を超える
就職セミナー・ガイダンス

最長 **80日間** におよぶ
長期間のインターンシップ

インターンシップ受け入れ企業数は
全国に **2303社**

インターンシップ参加学生の
満足度 **96%**

100% 参加
インターンシップは必修

進化する技・深化する知



技能工芸学部

情報メカトロニクス学科

- ◎AI・情報システムコース
- ◎ロボットシステムコース
- ◎機械デザインコース
- ◎生産システムコース

建設学科

- ◎木造建築コース
 - ◎都市・建築コース
 - ◎仕上・インテリアコース
 - ◎建築デザインコース
-

大学院

ものつくり学研究科 ものつくり学専攻 修士課程

〒361-0038 埼玉県行田市前谷333番地
TEL:048-564-3200(代表) FAX:048-564-3201(代表)
Web:<https://www.iot.ac.jp>

ものつくり大学同窓会

<https://sites.google.com/site/monodousokai/>



@iot_koho



ものつくり大学
(Institute of Technologists)



@institute_of_technologists

